

5 章

子どもの育ちを支える 地域の取り組み

地域のほとんどの大人が、子どもたちの豊かな育ちを大切に支えていこうという思いを持っていることが、今回の調査でも明確に表れています。

そうした皆さんが、県内の各地域で、子どもの育ちを応援するための取り組みをさまざまに展開しています。

この章では、その具体的な事例として、県内 29 市町において実施されている子ども参加の活動や取り組みとともに、三重県が実施している事業について紹介します。

1 節 県内市町における特徴的な取り組み

津市 子どもたちとつくる「元気っ津まつり」



秋の「元気っ津まつり」では、子どもたちが主体的に参加し企画・実施する取り組みをしています。子どもフリーマーケットに参加する子どもたちは、店長会議を何度も開き、出店のルールや場所などを決めました。「売上金額の多さにびっくり」、「お客さんとのやりとりが楽しかった」や「(フリマは)自分たちでやったので嬉しかった」など、子どもたち自身が「自分はできるんだ」という実感を持ち、大人は子どもたちの持つ力を体感する場となりました。

四日市市 よっかいちすまいるフェスティバル



家族の日である2011(平23)年11月20日(日)に子どもたちが家族や友だちと一緒に楽しめるイベントを開催しました。そのスタッフとして多くの高校生が参加しました。ビーズアクセサリー作りやスライム作り、お茶席体験といった体験コーナー等において、子どもたちが楽しめるように他のスタッフと協力して準備や接客に取り組む姿がみられました。短い時間でしたが、多くの参加者が笑顔になれた充実したフェスティバルになりました。

伊勢市 子どもたちとつくる「やさしいまち伊勢市」支援事業



児童生徒が地域の人との交流(ふれあい)や地域探検をとおして、高齢者や障がい者が住みやすいまちづくりについて考え、気づき、行動する取り組みを支援しています。「やさしいまち伊勢市発見大賞」を実施し、①ユニバーサルデザインの部、②発見・体験エピソード作文の部、③俳句・川柳・短歌の部の3部門に分けて、小・中学生を対象に作品を募集し、ユニバーサルデザインの部の上位入賞者作品のなかからアイデアを採用し実現化を図っています。また、入選作品は市のホームページで紹介しています。

松 阪 市 子ども人権文化フェスタ 2011 in 松阪・明和・多気・大台



2011（平23）年12月17日（土）に、ワークセンター松阪において開催し、松阪市、多気郡のおよそ130人の中学生、高校生が人権について学び合いました。全体会で子どもが作った東日本大震災復興支援DVD「P r e l u d e」～共につくる未来へ～を視聴した後、分科会で「いじめ」、「子どもの人権」、「障がい者問題」、「多文化共生」などのテーマ別に話し合いをしました。テーマの設定も、会の運営も子どもたちが主体的に行いました。

桑 名 市 わくわくコミュニケーション事業



桑名市では、保育所・高校・行政がそれぞれの目標を持ち、連携をとりながら「わくわくコミュニケーション事業」を実施しています。

子どもにとっては、1対1のパートナーシップ制をとることで、受容される喜びから人とつながる力を育んでいきます。高校生は、乳幼児と接することにより、コミュニケーション能力、自己有用感や自己肯定感の育成につながります。行政は、高校生が子育て体験の機会を持つことにより、子育ての楽しさや命の尊さを感じることで、次世代の親の育成をめざしています。

鈴 鹿 市 鈴鹿市青少年対策推進本部による安全安心ネットワークづくり



鈴鹿市では、市長を本部長とする「鈴鹿市青少年対策推進本部」を組織しており、行政、警察、学校、PTA、自治会など健全育成関係機関・団体等との連携のもと、横断的・総合的な子どもの健全育成に取り組んでいます。

子どもの安全安心についても、市内すべての小学校で青色回転灯パトロールカーを活用したパトロール隊を組織するなど、学校、PTA、地域等が一体となる「すずか安全安心ネットワーク」の充実を図っています。

名張市 ぱりっ子会議



名張市では、名張市子ども条例に基づき、子どもの自主的、自発的な運営による子ども会議「ぱりっ子」を開催しています。今年度は、「名張で災害が起こったら」というテーマで、2011（平 23）年8月31日、東日本大震災の被災地宮城県塩竈市の小・中学生とインターネットのテレビ電話を通じてインタビュー。この体験をもとに、2012（平 24）年2月11日、ぱりっ子会議メンバー11名が食糧の備蓄や避難場所、避難訓練などについて市長に提言を行いました。

尾鷲市 三木浦子ども太鼓



地域子どもたちを健全に育成し、地元の伝統を継承しながら次の世代につなげようと活動している「三木浦子ども太鼓」。漁業のまちの公民館活動としてスタートして20年以上、熱心な指導者のもとで練習を重ね、今や地区の祭りやイベントにはなくてはならない存在となっています。小学生が主なメンバーですが、イベントの時には中学生も加わって迫力の演奏を披露しています。多くの人に支えられながらも、みんなに元気を届ける「三木浦子ども太鼓」です！

亀山市 こども防災士育成事業の実施



「みえ防災コーディネーター」の資格を持ったメンバーで構成された地域防災のボランティア活動団体「かめやま防災ネットワーク」が、亀山市教育委員会と協働して、平成22年度から井田川小学校をモデル校として放課後のクラブ活動を活用した『こども防災士育成事業』を開催し、こども防災士を育成しています。子どもたちにも好評で、現在では市内4校に展開しており、今後も実施校を増やし新たな防災士の育成をめざします。

鳥羽市 島っ子ガイド



昔島では、小学生が「島っ子ガイド」として、観光客等に自分たちの島を案内する活動を総合学習の一環で行っています。

「島っ子ガイド」では、子どもたち自身が島の自然の特徴や生活文化などを調査することで、地域を知り、大切に思う心を育てています。また、来訪者にガイド・プレゼンテーションすることをおして、島外の人と接する経験の少ない島特有の環境のなか、子どもたちのコミュニケーション能力や伝える力の育成にも繋げています。

熊野市 子ども体験教室



熊野市では、熊野市文化交流センターを中心に「チャレンジ科学教室」、「子ども華道教室」、「子ども茶道教室」、「子ども囲碁教室」、「子ども絵画教室」、「親子で花づくり教室」を、また、紀和B&G海洋センターを中心に「カヌー体験教室」、「子ども水泳体験教室」、「チャレンジレスキュー」、「シーカヤック・OPヨット体験教室」など年間のべ94回開催し、さまざまな体験をおして子どもたちの育成をサポートしています。

いなべ市 軽キャンピングカーで出前ひろば、出前テントひろば



いなべ市では、常設の子育て支援センターで行う事業に加え、出前メニューも実施をしています。

子育て支援専用軽自動車（キャンピングカー仕様）「おでかけGo（号）」におもちゃを積んで地域の公民館や公園に出かけ、地域の子育てボランティア（子育て応援団）とともに「出前ひろば」、「出前テントひろば」を実施しています。地域で支えあう子育ての輪を広げ、すべての子育て家庭を応援します。

志摩市 志摩幼保園開園にともなう保育所交流イベント



志摩市志摩町の児童数の減少にともなう少子化、特別保育の要望や施設面での安全確保に対応するため、保育所及び幼稚園の一体化施設として整備を進めてまいりました志摩幼保園が、2012（平24）年4月に開園します。

今春、志摩幼保園に通園する志摩町内の保育園児が、振り付けや手遊びを交えながら楽しく歌ったり、細長い風船で動物を作ったり、大きな帽子などで子どもたちが変身するイベントをとおして楽しい時間を共有し、交流を行いました。

伊賀市 きずな～楽しい集い～



ある保育園では、月1回、『ハッピーデー』を設けました。子どもたちの心がより豊かに育つ場にもなるようにと、人形劇や音楽に触れてきました。楽しいを身体全体で感じることを繰り返しながら、「聴く」姿勢やマナーが身についてきました。

別の保育園では、市民館の『はつらつ塾』のお年寄りの方から、毎年手作りのプレゼントが届けられます。今年は花や鈴の付いた可愛いお手玉を頂き、早速、お手玉教室のはじまりです。8月には、戦争体験談に子どもたちは真剣な表情で聞き入っていました。

木曾岬町 木曾岬音頭・小唄保存会



木曾岬町は、伊勢湾台風の甚大な被害による文化遺産の流出等もあり、歴史資源が少ないまちです。そこで台風後につくられた「木曾岬小唄」等を地域に根付いた芸能文化として後世に残していく活動として、「木曾岬音頭・小唄保存会」が町内の小・幼・保の児童に踊りの指導をしています。各幼稚園・保育園では夏の夕涼み会で、保存会の会員と子どもたちによる木曾岬小唄の踊りの披露をしたりして、交流を深めています。

東員町 松の会 こども歌舞伎



東員町が歌舞伎の名優「七世松本幸四郎」の生誕の地であることから、歴代幸四郎丈を顕彰し、伝統芸能の継承、地域文化の振興を目的に1994（平6）年「松の会」を設立、翌年「こども歌舞伎」を結成。以来、毎年1回開催する町ひばりホールでの発表会に向け、先生から演技指導はもとより、挨拶や礼儀作法などメリハリのある稽古を週1回ずつ重ねています。大観衆の前で演じきった後の子どもたちの顔は清々しく達成感に満ちています。

菰野町 菰野町の子育てサロン



「初めて参加の〇〇さんを紹介しまーす。」子育てサロンを取り仕切る「キーパーソン」と呼ばれるお母さんの声が響きます。

「子育てサロン」は5つの小学校区で月に2～4回開催されています。ほっと一息つける茶話会が中心で、季節のイベント、さらにはお母さんたちが楽しめるヨガや料理教室など、キーパーソンが参加者の意見を取りまとめながら企画運営しています。「当事者主体の子育てサロン」を実施することで、ニーズに合ったふれあいの場となっています。

朝日町 子どもの育ちを支える地域づくり支援事業（早ね 早おき 朝ごはんキャンペーン）



幼稚園・保育園に通う子どもと保護者を対象に、食育推進と連動した規則正しい生活習慣づくりを推進するため、キャラクター劇と講演会を2011（平23）年1月31日、朝日町保健福祉センターにて開催しました。キャラクター劇では、マスコットキャラクターたちと体操や〇×クイズをしながら「早ね 早おき 朝ごはん」の大切さを学びました。

また、講演会の後には、朝日町食生活改善推進協議会による、朝食の簡単レシピの紹介や試食会も行いました。

川越町 川越町家族のきずなパワーアップ事業（トリプルKプロジェクト）



川越町では、三重県子ども条例の趣旨に基づき、「川越町家族のきずなパワーアップ事業（トリプルKプロジェクト）」と名付けて、子どもとその親、地域の大人が交流できる行事を行っています。

平成 23 年度は、親子の絆が深まり、たくさんの笑顔に触れることができるよう、子育てについての講演会をはじめ、レクリエーション、お父さんとお子さんによる料理教室、絵本うたライブなど親子が一緒に楽しめるイベントを行いました。

多気町 高校生のレストラン「まごの店」



高校生たちが経営するレストラン「まごの店」は多気町五桂池ふるさと村にあります。

当初「まごの店」は屋台のような小さいつくりでスタートしましたが、“子どもたちのきびきびとした元気な姿”が話題となり、地域の力を呼び込み現在のレストランとなりました。地域の食材を最大限に利用し、子どもたちがいろいろな料理に挑戦できる、日本中どこにもないレストランは、地域の夢を乗せ、子どもたちの熱い想いとともにより多気町を元気にしています。

明和町 カプラ遊び



夏休みを利用して、町内の小・中学生を対象にカプラ遊びを開催しました。会場は明和町立児童センターで、小学生を中心に多くの子どもたちが集まりました。

カプラとは、大人の手にのるほどの細長い白木の板で、工夫次第でいろいろな形を作り出すことができます。

今回の取り組みでは、子どもはもちろんのこと、その保護者も夢中になり、子どもと大人が一緒になって楽しむことができました。

大台町 川添地区の夏祭り



川添地区の真ん中に小学校と保育園が隣接しており、どちらも45人ほどの小ささです。このような地域性もあって、夏祭りと運動会は地区の大きなイベントとなっています。

夏祭りは、保育園児の手作りみこしと踊りで始まり、地区に伝わる盆踊りへと時間が流れていきます。毎年、「今年はどんなみこしかな」と保育園児の可愛い姿を楽しみに待っています。これからも「地域とともに育つ子」を、地域の皆さんと実感しながら育てていきたいと思っています。

玉城町 地域に根ざす外城田の保育



外城田保育所は自然に恵まれた保育所で、四季折々の自然のよさを日々の保育で満喫しています。

特に地域の方との交流は多く、散歩に行く先々で声をかけてもらったり、果樹や野菜の収穫をさせてもらったりしています。野菜などは、保育所でクッキングをしたり、お家へ持ち帰ったりして、お家の方にも、地域の特産物などを味わっていただいています。

また、地域の老人ホームに行き、お年寄りと交流したり、祖父母様に来ていただき、餅つきをしたりして、いろいろな面で地域の方の協力を得ています。

度会町 長原区『ふれあい農園』地域交流



長原保育所の近くにある農園で、区民の皆さんと園児たちが、和気あいあいとエンドウの収穫を行いました。

この取り組みは、農地・水・環境保全向上対策事業の地域交流事業として2007(平19)年から行われています。

自分の身の丈ほどの所についたエンドウに手を伸ばし一生懸命採っている園児たちの様子に、老人会、幸せ会、営農組合の方を中心に、参加された区民の皆さんは目を細めていました。

大紀町 ふれあい鮎つかみ大会



大紀町青少年育成町民会議が主催し、毎年、夏休みに町内の藤川の上流にて実施しています。

参加者は 250 名程度で、「鮎を捕まえ、自分で串刺しにし塩焼きにて調理し、食する」までを体験します。

また、捕獲には、つかみ取りと伝統漁法「しゃくり」による捕獲も体験し、自然とのふれあい、子どもと保護者のふれあい、子どもどうしのふれあいをおして、健全育成を促しています。

南伊勢町 海まつり



海まつりは、宿浦・田曾浦の両地区が一丸となり、地域の活性化を図るため、また、宿田曾の人たちが地域のよさの再確認とお互いが理解を深め、まちづくりへの参加を図ることを目的としてはじめられたまつりです。当日は、地域の子もたちなどが稚魚の放流・魚のつかみ取りを楽しみます。また、夕方からの夕涼み演芸会には、宿田曾園年長・年中の園児が踊ったり簡単な劇をしたりするなど、家族と一緒に地域の一員として参加しています。

紀北町 KIHOKU 戦隊アババイン



東紀州地域で唯一のご当地戦隊、「KIHOKU 戦隊アババイン」。

3人のヒーロー、4人の敵が登場し、紀北町を守るため敵と戦うストーリーとなっています。地元のお祭りやイベントに始まり、保育園や幼稚園などにも出張出演し、主題歌とダンスで子どもたちとふれあいます。

「アババイン」という名前は、地域で昔から使われている“あばばい（まぶしいの意味）”から、輝ける紀北町がいつまでも続くようにとの願いを込め名付けました。

御 浜 町 もうすぐ1年生広場



御浜町では、5歳児健康調査票をもとに、就学を迎える子どもの成長・発達状態の確認、保護者の心配事等への相談とその軽減等を図るために講演会や個別相談を実施しています。また、就学に際しフォローが必要な子ども等に対し、教育委員会、小学校、保育所と連携し、子どもが安心して就学できるよう支援しています。教室のなかでは、子どもたちはおやつ作りをとおして食育について学びます。

紀 宝 町 幼稚園の発表会（はだかのおうさま）



例年3学期の参観日には、劇の発表を行っています。セリフや動き等、1場面1場面を子どもたちと先生が相談しながら作ります。

台本が完成すると、次は演じる練習です。最初は、大きな声でせりふが言えなかったり照れて身体表現ができなかったりしましたが、練習を重ねるうちに自信を持って伸び伸びと演じる事ができるようになってきました。

総練習には、地域のお年寄りの方々をご招待し、楽しくご覧いただきました。